

令和8年度
教育研修員研修
プログラム

群馬県総合教育センター

I 長期研修

1 目的

群馬県教育ビジョンを踏まえた研修を通して、実践的な指導力や助言力を高めるとともに、研究協力校等や地域の中核として指導的な役割を担うことのできる人材を育成する。

2 内容

- 国の動向や群馬県教育ビジョンを踏まえて、教育課題の解決に向けた研修を行う。
- 研究協力校等の校内研修に積極的に参画し、実践的な指導力や助言力を高める。

3 研修スケジュール等

(1) 主な予定

月	研究	教育課題解決に資する研修	研究協力校等での実践
4	○テーマの理解 (文献講読、先行研究調査等) ◆先行研究報告会	【年間を通して】 ○文献講読、先行研究調査等	【年間を通して】 ○今日的教育課題に関する研修講座等への参画
5	○研究計画の立案 ◆研究計画発表会	○大学、大学院等との連携による研究の深化	○教科指導や進路指導に関する指導力・助言力の向上に資する研修
6	○教材の開発、調査の実施	○学力向上推進事業等への参画	○研究や研究協力校OJT等の推進に係る研修員同士による協議
7	◆中間報告会		○指導主事との協働による研修講座への参画
8	○研究協力校等における開発教材の検証、調査結果の分析		○研修講師としての資質の向上に資する研修
9	○各種協議会、研修会等における報告		○特別研修員の授業づくりへの参画(授業実践への助言)
10	◆研究成果報告会		○長期社会体験研修員との情報交換
11	○研究のまとめ(報告書の作成)		○公開研究会等への参加
12	○研究成果の発表(ぐんま教育フェスタ) ○研究成果の共有 ○研究報告書の刊行		○【義・特】中核市長期研修員との交流(合同研修) ○【高】先進校、大学、民間企業等の視察

注) 【義・特】は高校籍以外の研修員、【高】は高校籍研修員を対象に実施。

(2) 研究

教育課題の解決に向けて、必要に応じて領域ごとにチームを編成するなどして、教材開発研究や調査研究等に取り組む。研究開発した教材や授業の指導資料等を積極的に学校等へ提言し、協働的な実践を行い、実践結果を研究に反映させて研究内容の深化を図る。

【領域】

- 1 非認知能力の育成を図る教育課程、教育活動の工夫
- 2 児童生徒が自らの学びをつくる学習活動への転換
- 3 I C T活用による教育イノベーションの推進・学校のD X化
- 4 共生社会の実現に向けた教育の推進
- 5 豊かな人間性を育む生徒指導、教育相談の在り方
- 6 子供が資質・能力を発揮する架け橋期の教育の在り方
- 7 研修観の転換、教職の魅力向上に関する調査研究

(3) 教育課題解決に資する研修

- グループ演習やワークショップ型の演習、講読演習等の参加体験型の研修を行う。
- 研修講座の運営及び講師として参画する。

【内容】

- ・学校組織マネジメント・スクールコンプライアンス・危機管理等の今日的教育課題に関する研修講座等への参画
- ・教科指導や進路指導に関する指導力・助言力の向上
- ・特別研修員への指導・助言
- ・研修講座の講師として受講者への指導・助言

等

(4) 研究協力校等での実践

- 校内研修の時期や回数について研究協力校等と相談し、研修主任と連携を図りながら、校内研修に積極的に関わる。
- 若手教員への授業支援等に取り組み、実践的な指導力・助言力を身に付ける。
- 自身の研究の成果を踏まえ、各種協議会の講師等として研究成果を還元する。

【内容】

- ・研修主任へのアドバイス
- ・校内研修での情報提供
- ・研修推進委員会への参画
- ・若手教員への授業支援

等

【長期研修のイメージ】



II 長期社会体験研修

1 目的

企業等における研修を通して、社会的識見や教科の専門性を高めるとともに、本県のキャリア教育の中核として指導的な役割を担うことのできる人材を育成する。

2 内容

- 企業等における研修を通して社会的識見を高めるとともに、学校組織の活性化に資する研修を行う。
- 研修の成果を本県のキャリア教育の充実に生かす。

3 研修スケジュール等

(1) 主な予定 [年間 30 日程度（研究協力等での実践含む）]

月	企業等研修	センター研修	研究協力校等での実践
4	[年間を通して] ○企業経営・経営理念の理解 ○教科等の専門性の向上 ○職業や産業に対する理解の深化 ○企画・立案・実行力の発揮 ○マネジメント能力の強化 ○企業における組織運営の工夫 ○職位職階別に求められる能力 ○地域社会への貢献	[年間を通して] ○キャリア教育に関する講義・演習 ・キャリア教育の意義と背景 ・キャリアカウンセリングの進め方等 ○組織経営に関する講義・演習 ・学校組織マネジメント ・情報モラルとセキュリティ等 ○職業事情に関する情報収集 ・様々な業界、業種の企業訪問等	[授業実践、校内研修に関する資料作成等] ○キャリア教育実践の実施計画の立案 ○キャリア教育実践の指導案や資料等の作成 ○中間発表 ○キャリア教育の充実及び学校組織の活性化に資する成果物の作成
5			○キャリア教育実践の実施計画の検討
6			○キャリア教育実践の実施内容の検討
7			○キャリア教育実践の実施
8			
9			
10			
11			
12			
1			
2		○研修成果の発表（ぐんま教育フェスタ） ○研修報告書の刊行	○教員研修での講義 ○高校専門部会での報告
3			

(2) 企業等研修

研修員は研修先企業等での業務への取組を通して、社会的識見や教科の専門性を高める。
研修内容は、研修先企業等との協議の上、決定する。

(3) センター研修

キャリア教育や組織運営に関する講義・演習を行う。また、研修先企業等での体験を生かしたキャリア教育及び校内研修に関する指導資料を授業や行事等の実践場面に応じて作成する。

(4) 研究協力校等での実践

研究協力校等でのキャリア教育の実践、校内研修や公開授業での研修成果の発表を行い、研修の成果を学校等に還元する。

【長期社会体験研修のイメージ】



III 特別研修

1 目的

授業・保育実践等を通して、教科等の指導力を高めるとともに、研究協力校等や地域において指導的な役割を担うことのできる人材を育成する。

2 内容

- 幼児、児童生徒の実態に応じた授業・保育実践等を通して、指導方法や評価方法の改善に資する研修を行う。
- 積極的に授業・保育公開を行い、教職員の教科等の指導力向上に寄与する。

3 研修スケジュール等

(1) 主な予定 [年間 25 日 (所外研修 1 日)]

月	研 究		指導力向上に資する研修
4	テーマの確立	<ul style="list-style-type: none">○研究テーマ設定○研究計画立案○研究テーマ検討	[年間を通して] ○指導方法や評価方法の改善に資する研修（グループ、ワークショップ型の演習等による） <ul style="list-style-type: none">・学習指導・生徒指導・組織運営 ○長期研修員との協議 ○公開研究会等への参加
5	授業・保育実践①	<ul style="list-style-type: none">○指導案作成○指導案検討○公開授業○授業後の検討	
6			
7			
8	授業・保育実践②	<ul style="list-style-type: none">○指導案作成○指導案検討○公開授業○授業後の検討	
9			
10			
11			
12	まとめ	<ul style="list-style-type: none">○研究報告書作成○報告書検討	[2回の授業・保育実践等を終えた後] ○授業・保育実践等の評価 ○授業・保育改善のための協議
1			
2		<ul style="list-style-type: none">○研究成果のパネル発表 (ぐんま教育フェスタ)○研究報告書の刊行	
3			

(2) 研究

「全国学力・学習状況調査」「学校教育の指針」「はばたく群馬の指導プランⅡ」「県立学校教育指導の重点」「就学前のぐんまの子どもはぐくみプラン」等に基づき、授業・保育等の改善に取り組む。研究内容により、「はばたく群馬の指導プランⅡ ICT活用 Version」との関連を図りながら、主体的・対話的で深い学びにつながる授業実践を行う。研究テーマを設定し、「授業・保育等の改善案の検討及び策定」と「授業・保育等の実践」のサイクルを繰り返しながら研究内容を深化させる。校・園内や県内の教職員に対して積極的に授業・保育等の公開を行い、地域の教職員の教科等の指導力向上に寄与する。

【内容】

- ・国、県、学校の課題を解決するための授業の在り方に関する研究
- ・指導と評価の一体化を図る授業の在り方に関する研究 等

(3) 指導力向上に資する研修

模擬授業・保育や長期研修員との協議等を通して、授業・保育等の改善の方策を提案する。グループ演習やワークショップ型の演習等の参加型の研修を行う。また、講義等を通して育成すべき資質・能力や授業・保育改善に関する教育情報の収集を行う。

【内容】

- ・指導案検討・模擬授業・保育（長期研修員との協議）
- ・学習指導を充実させるための講義・演習
(「学習指導要領の趣旨とその考え方」等)
- ・学校・園の諸課題解決のための演習・協議
(「学校組織マネジメント」「カリキュラム・マネジメント」等)

【特別研修のイメージ】

